

ポストPC…そして、モノのインターネットへ

“ポストPC(PC後)の時代”が語られて久しいが、スマートフォン、タブレットなどのハードウェアや高速な無線通信の登場、ソーシャルメディアといったサービスの利用が進み、ここに来てより現実味をおびてきたように感じる。人自身が動物(うごくモノ)であるように、人が使うモノ、必要と思うモノこそ静から動へと変化してゆくのではないだろうか。

PCを静とすれば、ポストPCは動である。

動とは、スマートフォンやタブレットがその一つであろう…ただ、これらハードウェアのみを指してポストPCというのは少し違うように感じる。ネットワーク、サービスなどが組み合わさって初めてポストPC“動”と呼ぶべきではないか。

動の為に与えられた要素の一つ“ネットワーク”も高速化が進むと同時に利用の簡便化も進んでいる。LTEやWi-Fiといった高度なシステムをシームレスに、そして意識せずに利用できる日もそれほど遠くはないであろう。ハードウェア、ネットワークの設定等も、今までのようにまずはPCで…といった事もなく、スマホで簡単!に利用というようなより身近で、カジュアルなものへと移りつつある。PCを母艦…と呼ぶなんて今や昔話となってしまった。

人々の生活が見直され、よりシンプルな方向が望まれるように…インターネットに関連する機器やサービスも同様なものが求められるのだろうか。ここでは、ポストPCのキーワードは“動”+“素”とでも言ってしまう。

このようなポストPCが具体的に見えてきたタイミングで、インターネットにおける新しいキーワードも登場してきている。モノのインターネット: Internet of Things“IoT”という言葉を見聞きしたことはないだろうか。モノのインターネット…? ある予測では、2020年までに500億台の機器がインターネットに繋がると推計され、現時点でも既に15億台のPC、10億台の携帯電話等がインターネットに繋がっていると言われている。500億台というと、人口でみると1人辺り7台の機器をインターネットに繋ぐ計算となる。2020年だと少し先の感があるので、2015年ではどうだろうか?それでも150億台がインターネットに繋がると言われている。この数字は、メディア的な使われ方が中心だったインターネットの役割の変化を示すのではないだろうか。

繋がった先に何が起きるのか…インターネットを介してモノとモノがつながり、モノがつぶやき始める…そんな時代がくるかもしれない。モノのソーシャルメディア?モノとモノとが繋がりはじめの事で、その関連性を管理する新たな概念も登場するだろう。モノがつぶやき始める…ちょっと怖い、気持ち悪い…と違和感を覚える事もあるだろう。でも、エキスパートと呼ばれる人の経験や感覚、暗黙値をモノを通じて数値化し活用する…などという事もできるだろう。普通の人が、エキスパートになれる時代。

例えば、人々の生活を支える農業。暗黙値の可視化によって、安全で美味しい作物を誰もが育てられる事ができたら?食料自給率、後継者問題などの解決にモノのインターネット、モノの弦きが活かされる事が起こりえるやも。ポストPC、モノのインターネットの先にこのような世界が訪れるかもしれない。

深大寺あきひろ

カメラ一発!

Planex Cloud Connect



お待たせしました
ウルトラ簡単でスグ使える
ネットワークカメラ登場です



3分で
ウルトラ
簡単接続

カメラ一発!
Planex Cloud Connect
NEW CS-W06N